



武蔵野三田会会報

Vol.9

発行：2009年5月1日 発行人：内田 勲 編集者：一色 昭吾 〒180-0003武蔵野市吉祥寺南町4-14-6 T/F0422-43-4640

逆境に立ち向かっていこう

武蔵野三田会会長 内田 勲

2009年度がスタートし、街では初々しい新入生や、新社会人の姿を見かけるようになりました。現実には目を向けると、依然として厳しい経済環境が続いていることには変わりはなく、むしろ深刻度を増してさえいますが、それでも春は、不思議と気持ちを新鮮に、前向きにさせる力を持っているようです。

去る3月23日、平成20年度の慶應義塾大学学部卒業式において、安西塾長の式辞に続いて、私は塾員代表として、卒業生の皆さんへ祝辞を贈りました。かつてない不況の荒波にさらされた大海原へと船出する若者たちに対し、私自身のこれまでの経験から、「全てに感謝すること」、「自分の未来は自分で創ること」、「人を幸せにすること」の三つをお話しし、力強くエールを送りました。日吉記念館を埋め尽くす6000人余りの卒業生一人ひとりの

目を見て、お話ししました。その間、誰一人として微動だにせず、きちんと背筋を伸ばし、私語もなく、全員がしっかりと私のメッセージを受け取ってくれました。今時の若者はとかく頼りない、やる気がないなどと言われますが、社中において、それは当てはまりません。共に社会で戦い抜く同志として、そしてこれからの未来を託す人財（じんざい：財＝“たから”）として、信頼に足る若者たちであると、私は確信することができました。

未曾有の世界同時不況は、この一年が正念場とも言われています。困難で出口の見えない道の先にこそ、大きな達成感と幸せが待っていると、常に私は信じています。老若男女問わず、皆の英知を集結させ、この逆境に立ち向かっていきたいものです。



◇実施済
◆予定

平成21年の行事と催し案内

- ◇ 国会見学会と懇親会
日時：平成21年2月23日（月）
場所：議事堂内諸施設、憲政記念館
- ◇ 未来を開く“福沢諭吉展”見学と懇親会
日時：平成21年3月5日（木）
場所：上野東京国立博物館
- ◇ 春のゴルフ会
日時：平成21年3月26日（木）
場所：立川国際C.C.
- ◇ 映画“最後の早慶戦”鑑賞会
日時：平成21年3月31日（火）
場所：東商ホール
- ◇ 近郊散策会、三田キャンパス見学会
日時：平成21年4月16日（木）
場所：演説館、図書館その他諸施設、福沢諭吉墓所「善福寺」等
- ◇ 囲碁会合宿と懇親会
日時：平成21年4月18～19日（土、日）
場所：熱海ニューフジヤホテル

各行事予定◆の詳細は改めてご案内致します。
各行事に、ご家族、ご友人お誘い合わせの上、
多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

- ◆ 第26回武蔵野三田会総会
日時：平成21年5月30日（土）午後5：30
場所：吉祥寺東急イン
- ◆ 研修会「認知症サポーター要請講座」と懇親会
日時：平成21年6月19日（金）午後4：00
場所：武蔵野市役所西棟813会議室
- ◆ 平成21年夏の納涼会
日時：平成21年7月12日（日）午後6：00
場所：「アズダイニング吉祥寺駅前店」
イタリアン・洋食創作料理Tel：28-7868
- ◆ バス研修旅行
日時：平成21年11月12日（木）
行先：未定
- ◆ 秋のゴルフコンペ
日時：平成21年11月17日（火）
場所：八王子C.C
- ◆ グルメの会
日時、場所、未定
- ◆ 平成20年度忘年懇親会
日時：平成21年12月6日（日）午後6：00
場所：吉祥寺東急イン
- ◆ 囲碁サロン
開催日：毎月第3日曜日午後1：00より
場所：囲碁クラブ「秀哉」

平成20年度行事報告

- ・第25回武蔵野三田会総会（平成20年5月31日開催）
 - ・平成20年夏・納涼会（平成20年7月19日開催）
- については会報8号に記載されていますのでご覧ください。

平成20年忘年懇親会



平成20年12月6日（土）、吉祥寺東急インで武蔵野三田会忘年懇親会を開催。

栗生賢一郎塾員センター課長、村松健臣三鷹三田会副幹事長、黒田直隆杉並三田会事務局長、土屋正忠衆議院議員を来賓にお迎えして菊池太郎君の司会で開会。一色副会長の開会挨拶、塾歌斉唱の後、海堀周造会長代行の挨拶に引き続き、来賓を代表して栗生課長から150周年の記念行事のことなど塾の近況を報告いただいた。



塾員センター
栗生課長

その後懇親会に移り、武蔵野三田会会員佐藤勇君を中心とする塾員による編成の「KMP Lazy Jazz Orchestra」によるジャズ演奏が行われました。境野照彦幹事の発声による乾杯の後、和やかな会員同士の歓談の時間が流れて行きました。その間、初参加の会員紹介並びに自己紹介、それに皆のリクエストに応じられて会員の斎藤冴子の飛び入りの素晴らしいピアノ演奏というサプライズもあり大いに盛り上がりました。恒例の豪華賞品を揃えた福引大会の後、



福引大会風景



斎藤さんの演奏

「若き血」「丘の上」を全員で斉唱。

そしてここでも栗生課長

のフレーフレー慶応、フレーフレー武蔵野との熱のこもった応援をいただくというサプライズもありました。最後は梅川副会長による閉会の挨拶、一本締めで閉会。奥様や、可愛いお嬢さんも連れての一家での参加という方もいて、終始和やかで家族的雰囲気包まれた忘年会でした。



KMP Lazy Jazz Orchestraの演奏

平成20年バス研修旅行



平成20年11月15日（土）、吉野街道を多摩川に沿って奥多摩方面へ上り、沿道の美術館、酒造所の見学と紅葉の御岳溪谷の散策を楽しむ研修旅行を開催。

はじめに、山の急斜面に 中国の蘇州にあるものを模して造られた寒山寺を訪れ、周辺の紅葉に包まれた多摩川べりの溪谷を散策。次に、吉川英治記念館へ。百数十年の風雪を経た元養蚕農家の建物で、英治が“草思堂”と名づけて住んだ処。静かな庭に囲まれた建物や 英治の遺品を見学し、暫し文豪を偲ぶひと時。昼食は青梅、吉野の里「九兵衛」で。素材と隠し味に梅を使った「梅料理」に一同舌鼓。店内にある「梅と高麗人参の風呂」に入った方々もいました。食事後は玉堂美術館へ。84歳の絶筆まで幅広く展示された玉堂の絵と溪谷に沿った美しい庭園の佇まいを觀賞。最後は左党お待ちかねの石川酒造の酒蔵見学。白壁に囲まれた敷地内にある

100年以上前に建てられた酒蔵の中に案内されての酒造りの説明、いろいろな新酒の“利き酒”などのもてなしを受け、皆酔い心地で帰路につきました。盛り沢山の楽しい研修旅行でした。



（吉川英治記念館の門前での記念写真）

国会見学,憲政記念館見学

平成21年2月23日(月)
小雨が降ったり止んだりのあいにくの天気でしたが、32名の大



勢の参加者をえて、国会議事堂見学を開催。吉祥寺駅ホーム集合で、荻窪経由地下鉄丸ノ内線で移動。国会議事堂前駅から、当会員でもある落合恒秘書(土屋正忠衆議院議員事務所)の引率で衆議院会館へ。土屋代議士のあいさつを受け、「国会弁当」で昼食。狭い議員事務室などを見た後、国会へ移動。国会議事堂は大正9年1月着工、17年の歳月を経て昭和11年11月完成。敷地約10万㎡(武蔵野中央公園と同じ広さ)建築面積約1万3千㎡(延べ5万3千㎡)。衆議院本会議場で国会の仕組みなどを勉強し、約1時間の見学後、記念撮影。5分歩くと、昭和47年開館の憲政記念館に到着。もともとは、塾ゆかりの憲政の神様といわれた尾崎行雄(号堂)記念館でしたが、それを吸収し議会制民主主義を啓発するための記念館にかわりました。近代日本の政治の変遷が、わか

三田キャンパス見学会

平成21年4月16日、三田キャンパス見学会を開催。昔懐かしい「山食」での食事の後、塾員センター栗生課長のご案内で普段は公開しない重要文化財の三田演説館の内部や、旧図書館の150年記念切手図案に採用されたステンドグラス、南館にある法学部教育用の疑似法廷など新設の各種校内設備を見学。その後元麻布にある「善福寺」まで足を延ばし福沢諭吉先生の墓所を詣りました。好天に恵まれた春の散策を兼ねた楽しい見学会でした。



演説館の前で記念撮影

同好会活動

囲碁サロン



初心者から段位者まで入り交じって熱戦を繰り広げています。対局の後は何時も打ち解けた懇親会で楽しい日曜の一日を過ごしています。

開催日：毎月第3日曜日 午後1時より
会場：囲碁クラブ「秀哉」
吉祥寺本町1-34-22 田島ビル2階
会費：1200円(碁会所の入場料です)

対局は大体午後5時頃終了となります。その後ささやかな酒席で懇親会を行っています毎年春には一泊旅行も計画しています。今年も熱海に行きました。

右記の通り。

(お問い合わせ先：片田江恭輝 0422-22-3884)

りやすく解説されています。
土産物店で「麻生太郎のねじれ饅頭」などを買い求め、見学会は、国会議事堂前駅で解散。有志20人が、TBS隣り 赤坂サカスの居酒屋まで徒歩で移動し、懇親を深めました。とても好評の研修会となりました。

～熱海紀行～

恒例により今年も熱海へ4月18、19日1泊旅行をしました。和気藹々皆笑顔のなかにも緊張して試合をし日ごろの研鑽の成果を競います。

今年三鷹三田会からも2名の参加をいただき総数12名の賑やかさになりました。今後はより両三田会の交流が盛んになると思われます。

折りしも当囲碁クラブは10周年を迎えます。創業からのメンバーは一人も欠けることなく、それだけに今回の旅行は感無量のものがありました。当日は熱海の海上で花火が上り、この偶然さに一同大喜び。

(38・商 佐川正清)

同好会活動

ゴルフ会



平成21年3月26日（木）第16回武蔵野三田会ゴルフコンペが、幹事(前回優勝者)の大沢宏一郎さんのお世話で立川国際カントリー倶楽部で開催されました。当日は快晴にめぐまれ、心地よい春の息吹きを胸一杯に吸い込んで楽しくボールを追いかけながら懇親を深めました。

プレーは武蔵野三田会ゴルフ会競技規定によるハンディキャップ戦（アンダーハンディ・ストロークプレー）で行われました。



（優勝のカップを
受け取る鷺田さん）

優勝は鷺田忠保さん(グロス90) 準優勝は鷺田ひさみさん(グロス95)。ご夫婦揃って素晴らしい成績での入賞でした。3位は梅川芳宏さん(グロス94)でした。プレー終了後クラブハウスで和やかな

表彰式、懇親会が行われました。

次回秋のゴルフコンペは11月17日に開催の予定です。

会員の方には改めてご案内いたしますが、ご家族、ご友人お誘いあわせの上多数のご参加をお待ちしています。



(スタート前、参加者全員で記念写真)



(プレー終了後の懇親会)

みんなの ページ

「みんなのページ」は皆様からの投稿ページです。趣味、創る、観る、聴く、食べる、感じる、想う、皆様からのいろいろな発信をお待ちしています。今回は2010年に発足する社会保険庁の後継組織「日本年金機構」の初代理事長に内定された日本経団連の専務理事を務めた紀陸孝氏（S44年法卒、武蔵野三田会幹事）に依頼、新機構の課題などにつき寄稿して頂きました。



新・旧年金手帳



新旧どちらでもご利用になれます。

「日本年金機構」の課題

紀陸 孝 (S44政)

特別寄稿

公的年金の不適切な運営につき、社会的な批判、指弾を浴びた社会保険庁が廃止され、来年1月から日本年金機構が設立される。去る2月、この新機構の理事長予定者を拝命したが、この場をお借りし、新機構の課題等について概要を整理したい。

<社会保険庁の業務と新機構の概要>

～新機構の課題を整理する前に、社会保険庁と新機構の業務、役割を概観～

社会保険庁は厚生労働省の外局で、その主な業務は、国民年金、厚生年金保険及び政府管掌健康保険（主に中小企業対象）にかかる適用・徴収・給付である。

本庁（霞ヶ関）・業務センター、都道府県単位47の地方社会保険事務局、全国各地の社会保険事務所（312ヶ所）の組織からなり、平成20年度の職員数は約2万1千人（正規職員は約1万3千人）。

なお、公的年金の積立金の運用や各地の厚生年金会館、厚生年金病院、保養施設等の運営はそれぞれ別の機関が所管している。また、社保庁改革の第一弾として、すでに政管健保事業は、昨年10月設立の「全国健康保険協会」に移管されている。

新機構は、国から公的年金等の一連の業務運営を受託する非公務員型の法人であり、役職員は非公務員となる（刑法等の罰則の適用は公務員とみなす）。

<組織と意識の改革>

このように、官から民へと衣を変えた新機構の第一の課題は、加入者・年金受給者の付託に応える真のサービスを提供できる組織となり得るか、ということ。

社保庁の組織運営については厳しく批判されており、例えば、「三層構造（中央、県、現場）、職員団体（労働組合）、地方事務官制度（国家公務員でありながら都道府県知事の指揮監督を受ける制度。すでに廃止）等の問題の結果、組織としてのガバナンスが欠如」「人事政策や人材育成の取組が不十分」「地方組織は都道府県ごとの過度の独自性を主張し、全国統一的な業務処理の視点が欠落」等が指摘されている

新機構は、約1万8千人で発足（正規職員1万1千人、うち民間から1千人を採用）するが、機構の職員は、公的年金業務を正確かつ効率的に遂行し、法令等を遵守し、改革意欲と能力を持つ者のみとし、過去に懲戒処分を受けた者は不採用との方針で採用を行う。

組織も抜本的に改革し、本部機能・ITガバナンス・監査機能の強化、国民の意見を反映する仕組みを実現する。また、業務効率化・コスト削減・サービス向上に資する業務は積極的に外部委託を推進することとなっている。

このように、人材、組織の抜本改革が目指されているが、衣は変わっても意識は変わらず、では改革の実は上がらない。新機構の職員は一丸となって、組織改革・真のサービス組織の実現に邁進すべき責務を負っている。



「ねんきん特別便」

<年金記録問題への対応>

～課題の第二は、年金記録問題への対応～

年金記録については、国民年金は昭和59年以降、厚生年金は昭和61年以降それぞれコンピュータによりオンライン化されているが、それ以前の記録は合計8.5億件の紙台帳（マイクロフィルムを含む）として保管されている。

こうした記録の管理の杜撰さが明るみにでたが、1つは、平成9年に導入された1人1番の基礎年金番号に結びつかない記録が約5000万件存在。2つは年金記録の正確性にかかわる問題で、①過去の紙台帳からコンピュータへの記録転記が不正確、②厚生年金の標準報酬等（賃金・賞与）を事実と反して記録、③保険料納付記録の曖昧さ、等々。

問題発覚後これまで、全受給者・全加入者1億9百万人への「ねんきん特別便」の送付、インターネットによる記録照会サービスの拡充、年金記録確認第三者委員会（総務省）での対応等を講じている。今後は、新機構の発足までの間に一区切りをつけるため、体制強化等により事務処理を集中的・計画的に実施し、記録問題への従事者数を全体で1万人を超える規模とする。さらにこの4月からは、現役加入者の方に対し、毎年誕生月に、標準報酬を含む個人の年金に関する幅広い情報が記載された「ねんきん定期便」が送付される。

新機構が引き継ぐべき記録問題の業務量は確定的ではないが、年金記録の管理は年金制度の根幹に関わる重要な事務であり、これに新機構は的確迅速に対処しなければならない。

ここでは、上記二つを課題として整理したが、日本年金機構の課題はこれだけにとどまるものではない。新機構の運営に全力を傾注し、真摯に取り組む所存ですので、武蔵野三田会の皆様から、忌憚のないご批判・ご叱正、旁々ご支援をも賜れば幸いと存じます。（以上）

事務局からのお知らせ

事務局 〒180-0012 武蔵野市緑町1-3-3
TEL 0422-51-3627 大沢 宏一郎

- 武蔵野三田会の運営、活動、会報の記事などにつき皆様のご意見、ご提案を事務局宛お寄せ下さい。
- 同好会活動についてもご提案、お問い合わせを事務局までご遠慮なくお寄せ下さい。

●年会費納入のお願い
同封の郵便振込み用紙で年会費納入に本年もご協力下さい。（一人3,000円です）

- 武蔵野三田会の**会員名簿**を更新作成しています
次回第26回総会の時に新名簿を配布する予定です。



- 武蔵野三田会の行事、催しについての開催連絡が日程に余裕なく、又趣旨が周知徹底しなかったケースもあり、事務局として今後改善を図って参りたいと思っています。